

アジア経済

2024.12

Vol.65 No.4

論文

中国における失業の消滅と現実
——精簡政策の実施過程を中心に——
許 楽

蒙疆政権期、オランチャブ盟の設立とその意義
広川佐保

研究ノート

中国における食品安全問題と消費者運動
——消費者主権をめぐる民間の取組みとその限界——
梁 憬君

書評

紹介

『アジア経済』 ウェブ公開についてのお知らせ

『アジア経済』は、迅速かつ広範な研究成果の発信を目指し、紙媒体刊行後、各記事を即時ウェブサイトにて公開しています。また、2019年から学術ジャーナルのポータルサイトであるJ-STAGEを通してDOI（デジタルオブジェクト識別子）を取得し、アクセスと利便性の向上を図っています。

各記事は以下のアドレスから閲覧・検索いただけます。

<https://www.ide.go.jp/Japanese/Publish/Periodicals/Ajia.html>

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/ajiakeizai/-char/ja>

『アジア経済』への投稿について

本誌は1960年に、発展途上地域を対象とした社会科学分野の専門的学術誌として創刊され現在に至っています。発展途上地域研究の発展に貢献するため、誌面を広く所内外の研究者に開放し、質の向上に努めています。

- 本誌は常時投稿を受け付けています。どなたでも自由に投稿できます。受け付ける原稿は、発展途上地域（アジア、アフリカ、ラテンアメリカ、中東、オセアニア、旧ソ連・東欧圏など）を対象としたもので、政治、経済、社会、法律などに関する論文、研究ノート、研究レビュー、資料、現地報告、研究機関紹介、書評論文、書評などで、オリジナルで、かつ投稿中でない、未発表のものに限ります。なお、本誌に掲載された原稿の内容に関するご意見も投稿として受け付けます。使用言語は日本語に限ります。
- 本誌は創刊以来原稿検討制度を維持しています。幾度かの制度改定を経て、現在は以下のような方式を採用しています。
提出された原稿は、当研究所職員・外部投稿者の別なく、当研究所内外の2名以上のレフェリーによる査読を経て、編集委員会において採用の可否を決定します。査読に当たっては、予断を排し客観性を保つために、レフェリーに対しては原稿執筆者の名前を伏せて依頼し、原稿執筆者に対してもレフェリーの名前は通知しません。
- 投稿は原則として電子メールでのみ受け付けます。投稿される方は、当研究所ウェブサイトの以下のページをご覧ください。所定の分量・書式・投稿方法に従ってご投稿ください。
<https://www.ide.go.jp/Japanese/Publish/Periodicals/Ajia.html>
- 投稿に関するお問い合わせ先——〒261-8545 千葉県千葉市美浜区若葉3-2-2
独立行政法人日本貿易振興機構
アジア経済研究所学術情報センター成果出版課『アジア経済』編集部
電話 043-299-9538 Eメール ajiak@ide.go.jp

本誌の編集方針、企画の審議、原稿の審査は下記編集委員会が行っています。

2024年度編集委員会——委員長：岩崎葉子，委員：岡田 勇（名古屋大学），
金 成垣（東京大学），田原史起（東京大学），
深町英夫（中央大学），青木まき，植田 暁，
植村仁一，木村公一郎，荒神衣美，橋口善浩

編集部：池上健慈，河上季代子，高橋 学，平原友輔

2024年度書評分科会——座 長：大塚健司，委員：明日山陽子，網中昭世，石黒大岳，
上谷直克，長田紀之，後閑利隆，松浦正典，
山口真美，山田浩成，渡辺 綾，渡邊雄一

ア ジ ア 経 済

第 65 卷 第 4 号

2024 年 12 月

目 次

論 文

- 中国における失業の消滅と現実
——精簡政策の実施過程を中心に——…………… 許 楽…………… 2
- 蒙疆政権期, オランチャブ盟の設立とその意義…………… 広 川 佐 保…………… 34

研究ノート

- 中国における食品安全問題と消費者運動
——消費者主権をめぐる民間の取組みとその限界——…………… 梁 憬 君…………… 64

書 評

- 杉村和彦・鶴田格・末原達郎編『アフリカから農を問い直す
——自然社会の農学を求めて——』…………… 生 駒 忠 大…………… 99
- 山本直著『オルバンのハンガリー——ヨーロッパ価値共同体との相剋——』
…………… 白 井 陽 一 郎…………… 103
- 孟若燕著『中国経済の生産性分析 1992-2010』…………… 梁 涛…………… 109
- 鄭黄燕著『都市化の中国政治——土地取引の展開と多元化する社会——』
…………… 田 原 史 起…………… 115
- 久米郁男編『なぜ自由貿易は支持されるのか——貿易政治の国際比較——』
…………… 鈴 木 淳 平…………… 121

紹 介

- デイン・ケネディ著, 長田紀之訳『脱植民地化
——帝国・暴力・国民国家の世界史——』…………… 鬼 丸 武 士…………… 125
- 中村元哉編著『改革開放萌芽期の中国
——ソ連観と東欧観から読み解く——』…………… 大 串 敦…………… 126

『アジア経済』総目次 2024 年

- 第 65 巻第 1 号～第 4 号…………… 128
-

編集後記

幼い頃、祖父母のもとに行くときよくテレビの相撲中継が流れていたものですが、子どもの目にはお相撲さんの区別がほとんどつきませんでした。私にとって力士たちはみな土俵で右往左往する「不思議な髪形をした大きな小父さんたち」にしかみえないのに、祖父母が「●●山」「▲▲海」と話しているのを聞いて、「よく区別がつくものだ」と思っていたものでした。

それがここ数年、私も「お相撲さんの区別」がつくようになり、自分でも驚いています。顔と四股名が一致するだけでなく、人気力士から脇役・端役といった役回りに至るまで、多くの力士の出身地や所属部屋が自然とわかるようになってきました。年齢のせい、彼らが「大銀杏を結った大きな若者たち」にみえる、というのもさらなる驚きです。家の者との会話でも「ああ、あの子は十両に落ちたね」「この子は三役に上がれるだろうか」などと、まるで昔から知っている近所の子どもたちみたいな扱いをしています。お爺さんばかりだと思っていた行司も、今となってはその大半が年下となってしまいました。

思えば学術ジャーナルの世界でも、はるかに先を行く先輩ばかりだった執筆陣が、いつの間にか自分の子どもとってよいくらいの世代に入れ替わりつつあることに気づかされます。私もいまや若い研究者からの投稿論文を検討させていただく立場となり、慣れない行司さばきに右往左往する毎日を送っていますが、とにかく軍配の差し違えだけはしないよう、土俵いっぱいまで目を凝らすようにしています。

(J.U.)

Contents

Articles

Reality of the Disappearance of Unemployment in China: A Study of the Implementation of Downsizing Policy Yue Xu

Establishment of a New Administrative Office for the Ulaanchab League and Its Significance in the Mengjiang Regime Saho Hirokawa

Note

Food Safety Problems and the Consumer Movement in China: Civilian Movements for Consumers' Sovereignty and Their Limitations Jingjun Liang

Book Reviews

Kazuhiko Sugimura, Tadasu Tsuruta, Tatsuro Suehara eds., *Rethinking Agriculture from African Perspective: Searching for Agricultural Science of "Natural Society"* (in Japanese) Tadahiro Ikoma

Tadashi Yamamoto, *Orbán's Hungary: In Conflict with the European Values* (in Japanese) Yoichiro Usui

Ruoyan Meng, *Productivity Analysis of Chinese Economy 1992-2010* (in Japanese) Tao Liang

Huangyan Zheng, *Who Benefits?: The Politics of Land Transactions in China's Urbanisation* (in Japanese) Fumiki Tahara

Ikuo Kume ed., *Why Free Trade Is Resilient: Comparative Trade Politics* (in Japanese) Junpei Suzuki

Bookcase

Dane Kennedy, transl. by Noriyuki Osada, *Decolonization: A Very Short Introduction* (in Japanese) Takeshi Onimaru

Motoya Nakamura ed., *China in the Early Reform and Opening-Up Era: Perspectives from the Soviet Union and Eastern Europe* (in Japanese) Atsushi Ogushi

Quarterly Journal of
Institute of Developing Economies

Japan External Trade Organization

3-2-2, Wakaba, Mihama-ku, Chiba-shi, Chiba, 261-8545, Japan

定価 2200 円 本体 2000 円 (税 10%)

アジア経済通巻646号

雑誌01433-12



4910014331242

02000